

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡崎庄司田校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		各支援室はタイルカーペット敷きです。	支援スペースの確保です。
	②	職員の配置数は適切である	○		1日の担当人数を考慮しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		各支援室の入り口に番号をつけ分かりやすくしています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			毎回利用後には、消毒を徹底しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所からの「お知らせ」を作成・配布したり、ブログやラインを活用したりしています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後の課題として検討して行きます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		各種研修への参加や毎月のミーティングの機会を確保しています。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者からのニーズを全職員で共有しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		年度毎に、「更新受付シート」・「アセスメントシート」を配布・記入・回収しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当制となっているが、職員同士話し合って立案を行なっています。	話し合う時間の確保が課題です。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している		○		個別支援のため、SSTの教材等により支援しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援の空き時間も利用しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		月に1度のミーティングの機会を利用しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録はパソコンに打ち込み、いつでも見られるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		全職員が保護者との対話を常に心掛けています。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		支援担当者だけでなく、児童発達支援管理責任者も参加しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			今まで以上に、協力連携を深めて行きたいです。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		医療的ケアが必要なお子様及び重症心身障害のあるお子様の受け入れは行なっていません。

	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		医療的ケアが必要なお子様及び重症心身障害のあるお子様の受け入れは行なっていません。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			今後更に情報共有と相互理解が出来る体制を目指して行きます。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			今後更に情報共有と相互理解が出来る体制を目指して行きます。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			相互に連携し、研修に参加する等して、助言や研修を受けています。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		今後の課題として検討して行きます。
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		定期的ではないが参加できるように検討しています。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回支援後の振り返りで伝えています。	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			毎回の支援終了後の振り返りの時間等を通じて、家庭での対応方法についてアドバイスを行なっています。
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		事業所内に掲示しています。	契約時に丁寧に説明を行なっています。
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			新しい「児童発達支援計画」の作成の為に、基本2か月前から保護者と打ち合わせや面談を行ない、丁寧に説明しています。
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者との対話に心掛け、事業所内相談支援も行なっています。	毎回の支援終了後の振り返りの時間も活用しています。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後の課題として検討して行きます。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者との対話に心掛け、事業所内相談支援も行なっています。	相談・申し入れや苦情等の解決に講ずる措置を事業所内に掲示し、頂いた事項に対しては、迅速かつ適切に対応しています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		「お知らせ」やブログ等により定期的に発信しています。	ラインの活用も加わるようになりました。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		相談や申し入れ等、プライバシーに配慮して対応しています。	書類等は鍵付きのキャビネットに保管し、個人情報にアクセス出来る端末はパスワードを設定して、適切に管理対応するように職員に周知しています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚支援や筆談等の体制を整えています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後の課題として検討して行きます。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		支援プログラムの1つとして取り入れています。	毎月1回以上の避難訓練を行なっています。各種対応マニュアルを策定し、職員に周知しています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		支援プログラムの1つとして取り入れています。	毎月1回以上の避難訓練を行なっています。各種対応マニュアルを策定し、職員に周知しています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			契約時のアセスメントにより確認をし、全職員で周知徹底しています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			支援時に該当物質との接触が起こらないように留意しています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		職員・利用者双方から考えて作成しています。	報告書を作成・保管し、全職員で共有しています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待に関する研修に参加しています。	虐待防止委員会を開催しています。

④7	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している</p>	○			<p>保護者様へは、契約時に「重要事項説明書」を読み合わせて丁寧に説明しています。</p>
----	---	---	--	--	---

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡崎庄司田校 保護者等数（児童数）：21人 回収数：20人 割合：95%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18人	2人			狭過ぎず大き過ぎず、各部屋が個室で綺麗。	法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	17人			3人	適切です。	教員や保育士等が対応しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19人			1人	ごちゃごちゃしてなくて、安心出来ます。	安全性の意識を継続して大切にして参ります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18人	2人			清潔な空間です。	毎日の清掃や支援後には消毒等を行ない、活動に合った空間作りを心掛けています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20人				ニーズを聞いてくださり、本人に合ったプログラムが作成されています。	定期的なアセスメントやモニタリングを行ない、児童発達支援計画を作成しています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17人			3人	その都度アドバイスをくださり、共に考えてくださっています。	お子さまの状況に合わせて長期・短期の目標を設定し、児童発達支援計画を作成しています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20人				苦手を改善へと導く内容を組んでくださっています。	児童発達支援計画に沿って支援を行なっています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14人	6人			工夫されていて、レベルアップもされています。	お子さまの特性や興味等に合わせ、効果的に楽しく支援を行なっています。

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5人	1人	9人	5人	望んではいません。	必要に応じて検討して参ります。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20人				契約時に書類を見て詳しい説明がありました。	契約時や毎月の請求の際にもご説明をし、掲示物でも示しています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20人				十分にされています。	保護者さまとの面談や児童発達支援計画の説明の際に行なっています。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	8人	3人	3人	6人	随時、色々な相談を聞いてもらっています。	毎回の支援後の時間等で対応させてもらっています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19人			1人	毎回支援後に、今日の支援内容や様子等を細かく説明してくれます。	毎回支援後の時間に、保護者さまへのフィードバックの時間を設けています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17人	1人	1人	1人	面談だけでなく、何かあればその都度対応してくれます。	毎回の支援後の時間等で対応させてもらっています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		3人	8人	9人	保護者同士で連携をしたい方達が集まれば良いと思います。	必要に応じて検討して参ります。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19人	1人			話しやすい雰囲気、個別の相談で対応してもらっています。	相談・申し入れや苦情等の解決に講ずる措置を事業所内に掲示し、頂いた事案に対して迅速かつ適切に対応して参ります。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20人				なされています。	連絡事項があれば、プリントにして渡しています。

	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14人	3人		3人	毎月カレンダーをもらっています。	ラインやブログ等で、定期的に色々な情報の発信を行なっています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	16人	3人		1人	契約時に説明がありました。	書類等は鍵付きキャビネットに保管し、個人情報にアクセス出来る端末はパスワードを設定して、適切に管理対応するように職員に周知しています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14人	2人	1人	3人	訓練には参加していませんが、契約時に避難場所の説明がありました。	保護者さまには、契約時での説明や事業所内での掲示により周知徹底に努め、お子さまには、支援プログラムの1つとして訓練に参加してもらっています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9人	2人	2人	7人	支援中に訓練に参加していました。	毎月1回、避難訓練を行なっています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	18人	2人			とても楽しみにしています。嫌がることなく通っています。	今後もお子さまの特性や興味等に合わせ、より良い支援を目指しつつ、保護者さまにとっても1つの居場所となるよう目指して参ります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	19人	1人			とても満足しています。	個別支援での良い部分を大切にして、更に研鑽を積んで参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。